

令和2年度 川口市行政評価外部評価委員会に対する

ご意見及び回答

〔 回答:企画経営課 〕

1	意見	<p>委員会の運営について、今回の資料は、初見では制度の理解が難しく、もう少しわかりやすくしてほしいと感じた。また、評価するポイントや内容についてももう少し丁寧に説明してほしいと思った。委員に任命された初年度であったため、評価する事業の制度の性質や違いを理解するのに時間を要したと感じた。以上の点について、来年度について、より一層深い議論ができるよう改善してほしい。</p>
	意見	<p>制度の理解に時間がかかったように思うので、資料だけでなく、ヒアリングの際にももう少し詳細な説明をお願いしたい。</p>
	意見	<p>委員会の運営について、今年は初回の委員会が延期になったことや、コロナの影響で長時間の会議が開催できないという制約があったが、より良い評価をするためには、もう少し説明や会議を丁寧にしてほしいと思う。過去の委員切り替え時の会議も参考にして、来年の運営改善に努力を期待したい。</p>
	回答	<p>行政評価制度の説明につきまして、多くの委員の皆さまが、委員初年度ということに対し、事務局として、配慮が不足していたことにつきましては、反省するところがございます。来年度は、皆さまからいただいたご意見を参考にしながら、皆さまがより評価しやすい委員会を運営できるよう改善してまいります。</p>
2	意見	<p>市民を意識した資料作成という目的を今一度再確認し、庁内で共有したうえで資料の作成や指示を行っていただきたい。</p>
	意見	<p>市民が市の事業をきちんと理解できるかどうか、理解できるように調書を作成し、説明していくことが外部評価委員会の出発点であり、今後の運営において再考していただきたい。</p>
	回答	<p>資料につきましては、アンケートにおいても、資料が分かりにくいとの声を多数いただいたことを踏まえ、来年度につきましては、これまで以上に、市民目線を意識した資料の作成に努めてまいります。</p>

3	意見	ヒアリングが短く、事業内容がよくわからない部分もあったため、来年以降、少し改善していただきたい。
		内容を評価するには時間が短かったように思うので、今後の運営を検討願いたい。
	回答	多くの委員の皆さまからヒアリングの時間が短いとの声をいただきましたことから、ヒアリングの所要時間をはじめ、事業担当課による説明やヒアリングの方法につきましても、検討してまいります。

4	意見	財政制約のもとでいかにいい事業を実施していくかが重要であると考えているが、事業のニーズや効果の検証についての質問に明確な回答がなかった。今後はさらに財政が厳しくなっていく中で、外部評価という場を活用して改善してほしいと考える。
	回答	ご指摘のとおり、今年度のヒアリングにおいて、議論が一方通行になっていた部分が見受けられましたので、外部評価という場がより良い事業の実施のために有効活用していくための一つのツールであるということをご共有できるよう、事務局から働きかけてまいります。

5	意見	市民の参加する委員会でいきなり事業の説明をしても、具体的な内容の理解が難しい。ヒアリングの最も重要な点は、聞く相手が理解できるようにすることであり、つまりは職員の説明能力が試されているといえる。
	回答	来年度の事業担当課による事業説明及びヒアリングに際しましては、今年度の反省も踏まえ、委員の皆さまに対し、より丁寧に筋道を立てお伝えすることが出来るよう、取り組んでまいります。